




防災訓練の主なメニュー 一覧

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	所要時間	サポート担当	状況	実施要件	備考
1	防災倉庫資機材 展示取扱説明	防災倉庫に資機材としてどんなものが準備してあるかを知り、いざというときに使用できるようにします。	防災倉庫に収納してある資機材の展示及び取扱方法の説明をします。	15分	防災 危機管理課		・防災倉庫所在地近辺で訓練を行う場合に限りです。	
2	震災対策用資機材 展示確認	震災対策用資機材としてどんなものがあるかを知り、いざというときに使用できるようにします。	自主防災会に配布してある震災対策用資機材の点検及び確認をします。	15分	予防課			
3	避難所への避難訓練	災害が起きた際に避難所へ、円滑に避難できるようにします。	避難経路を確かめながら、実際に自宅から避難所へ避難します。	20分	防災 危機管理課			
4	津波避難訓練	津波発生時に、円滑に避難ができるようにします。	津波からの避難方法、避難目標場所等について確認します。	20分	防災 危機管理課		津波危険地域のある地区に限りです。	
5	土砂災害避難訓練	土砂災害警戒情報発表時の対応を学びます。	土砂災害警戒情報発表時の避難経路等について学びます。	20分	防災危機管理課		土砂災害危険区域のある地区に限りです。	
6	集合住宅防災訓練	災害が起きた際に集合住宅から、円滑に避難できるようにします。	マンション等の集合住宅からの避難、消火訓練等を行います。	60分	予防課		マンション等の集合住宅の居住者の方に限りです。	
7	消火器訓練 (訓練小屋使用)	火災が起きたときに適切な対応が取れるようにします。	訓練用消火器を使用し、訓練小屋(小)に点火された火を消火します。	20分	予防課		・5m×4m四方(20㎡程度)のスペースが必要です。	
8	消火器訓練 (標的使用)	火災が起きたときに適切な対応が取れるようにします。	訓練用消火器を使用し、火点となる的を倒します。	15分	予防課		・5m×20m四方(20㎡程度)のスペースが必要です。	
9	水バケツ消火訓練	火災が起きたときに大勢の人で協力して、適切な対応が取れるようにします。	2列になり、1列は用水に溜めた水をバケツにくみ上げリレーし火点にかけ、もう1列は空のバケツを水までリレーし戻します。	15分	予防課		・5m×20m四方(100㎡程度)のスペースが必要です。 ・200リットル程度の水源が必要です。	
10	濃煙訓練	火災が起きたときに火災の煙から適切に避難できるようにします。	煙を充満させたハウスを通り、火災による煙からの避難を疑似体験します。(煙は無害の訓練用のものを使います。)	15分	予防課		・10m×5m四方(50㎡程度)のスペースが必要です。	

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	所要時間	サポート担当	状況	実施要件	備考
11	救出救護訓練	防災資機材の使用方法を習得し、いざというときに救出及び救護をできるようにします。	倒壊建物の下敷きになった人を防災資機材を使って救出し、救護します。(マネキンを使用します)	15分	予防課			
12	AED(自動体外式除細動器)訓練	心臓が停止したときにAEDを使って心肺蘇生ができるようにします。	気道確保の仕方や人工呼吸、心臓マッサージの方法、AEDの使い方を学びます。(訓練用の人形とAEDを使います)	30分	消防署			
13	包帯法(包帯又は三角巾)	包帯を使ってケガの応急手当ができるようにします。	新聞紙や座布団等を活用した骨折の手当の仕方や止血の方法及び包帯の基本的な巻き方を学びます。三角巾を使うこともできます。	30分	予防課			
14	応急担架、搬送法訓練	けが人を適切に運ぶことができるようにします。	けが人や要援護者を一人で運ぶ方法や複数人で運ぶ方法、また家庭にある毛布を使って搬送する方法、簡易担架の作り方などを学びます。	20分	予防課			
15	ロープ結び訓練	荷物の上げ下ろしや、人を救出するとき、適切にロープが結べるようにします。	荷物の上げ下ろしや、人を救出するときの命綱など、ロープの結び方、使い方を学びます。	30分	予防課			
16	避難所生活体験	避難所で、適切に集団行動ができるようにするため	避難所となる小学校体育館で敷物、目隠しの設営など集団での体験をし、いざというときに備える。宿泊をすることもあります。	半日程度	防災危機管理課		実際の避難所となる小学校の体育館が使用できる場合に限りです。	
17	警戒警備	集団避難の際に地区内の警戒警備を行います。	一時避難所から小学校への避難状況を消防団がサポートします。	避難開始から完了まで	消防団(庶務課)			
18	消火器訓練(標的使用)	火災が起きたときに適切な対応が取れるようにします。	訓練用消火器を使用し、火点となる的を倒します。	15分	消防団(庶務課)		・5m×20m四方(20㎡程度)のスペースが必要です。	
19	消防車の展示・説明	消防車を見学し、消防に対する知識を深めます。	消防団の所有する消防車(ポンプ車)について、展示、説明を行います。	10分	消防団(庶務課)			
20	救助資機材の使用訓練	救助資機材の使用方法を学びます。	救助資機材の使用の実演、体験をします。	20分	消防団(庶務課)			

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	所要時間	サポート担当	状況	実施要件	備考
21	防災グッズ展示	防災グッズについての知識を深めます。	家具転倒防止用品、非常用持ち出し品、非常備蓄品などの展示及び説明をします。	10分	防災危機管理課			
22	炊出し訓練	災害時に多くの人に食事を提供するための炊き出しの方法を学びます。	ハンソリを用いた炊飯(直炊、ハイゼックス)、を実際に行うほか、ハンソリを使わない炊飯方法等についての説明を受けます。	120分	知多市赤十字奉仕団		・訓練場所は水道の近くに限り ます。	
23	サバイバル炊飯	電気、ガスが使えないときに、身近のもので、コンロをつくることできるようにします。	空き缶でコンロをつくり、ご飯を炊く実演を行います。		市内防災ボランティア団体			

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	所要時間	サポート担当	状況	実施要件	備考
24	防災講演	防災に関する知識を深めます。	防災に関わる様々な人の話を聞き、防災の知識を深めます。	30分	市内防災ボランティア団体			
25	地震防災の講話	日頃からの地震への備えについての知識を深めます。	日頃からの地震に備えについて、説明をします。	30分	防災危機管理課			
26	火災予防の講話	火災予防について学びます。	火災予防について、説明をします。	30分	予防課			
27	八幡出張所 市民体験コーナー 地震体験	地震の揺れを体験します。	地震体験装置で、兵庫県南部地震や想定される東海地震の揺れを体験します。	30分	消防署八幡出張所			
28	八幡出張所 市民体験コーナー 煙避難体験	火災が起きたときに火災の煙から適切に避難できるようにします。	濃煙室を使い、火災による煙からの避難を疑似体験します。(煙は無害の訓練用のものを使います。)	30分	消防署八幡出張所			
29	八幡出張所 市民体験コーナー 応急手当体験	心臓が停止したときにAEDを使って心肺蘇生ができるようにします。	気道確保の仕方や人工呼吸、心臓マッサージの方法、AEDの使い方を学びます。(訓練用の人形とAEDを使います。)	30分	消防署八幡出張所			
30	八幡出張所 市民体験コーナー 防火防災クイズ	火災予防や防災のクイズにより、火災予防や防災の知識を習得します。	パソコンの防火防災クイズに答えて知識を習得します。インターネットによる情報検索も体験できます。	20分	消防署八幡出張所			
31	八幡出張所 市民体験コーナー ビデオ上映	火災予防や防災の映像を鑑賞し、火災予防や防災の知識を習得します。	火災予防や防災の映像を鑑賞し、火災予防や防災の知識を習得します。(36席あります。)	30分	消防署八幡出張所			
32	八幡出張所 市民体験コーナー 屋外体験(放水、試乗)	放水体験や、消防車の試乗を行い、消防への理解を深めます。	腕用ポンプを使い、ホースによる放水体験や、消防車の見学やはしご車の高所試乗体験などをします。	30分	消防署八幡出張所			
33	親子で学ぶ 防災スクール	親子で防災に関することを分かりやすく学び、災害への関心、知識を深めます。	地震体験、はしご車の試乗体験、消火訓練等、様々な体験、訓練を行います。	120分	消防署八幡出張所			